



スジグロシロチョウ



モンシロチョウ



ニホンアマガエル



ヨツメビケラ



ヨツメビケラ



コマルハナバチ



ヒメクロホウジャク



ヤブキリ幼虫



クロボシツツハムシ



ムネアカアワフキ



ナミテントウの産卵



オオバン



カイツブリ



アオサギ



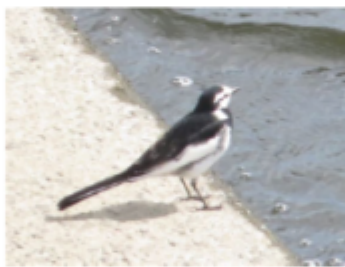
ダイサギ



コサギ



カワウ



ハクセキレイ



ヨシガモ交尾



シジュウカラ



キジ



スズメ

やっと平年並みの春の気候に戻った日です。生き物たちはいつもの年より早く活動し、花々は先を争って咲いていきます。

4月は初参加の人たちも加わり、小さな生きものにも目を向けて歩きました。

コースは 野の花苑一見晴らしの丘一くわくわ森一館前田んぼと畑一俣野遊水地一下飯田遊水地

野の花苑 色々な野草が咲いています



雪餅草ユキモチソウ
真ん中のお餅が可愛い



地海老板ジエビネ



踊子草オドリコスウ
在来種、地のものです



丁子草チョウジソウ
他の地域では絶滅危惧種



山吹ヤマブキ



蛍翼ホタルカズラ
花が青からピンクに変わります



小溪の立浪草コバナツツナミソウ
花の形が波立っているように



一輪草イチリンソウ
白い花が目立ちます



白花鳥野豌豆シロバナナカラス
ノエンドウ 野生です



姫空木ヒメウツギ
小ぶりかわいいです



桜草サクラソウ
湿ったところが好きです



雉冠キジムシロ
雉が真ん中に座ると花が周りに



金鐘小草キランソウ
生薬として傷薬や解熱剤に



編笠茸アミガサタケ
春に出るキノコ、食べられます



紫鶯苔ムラサキサギゴケ
湿り気のある場所が好きです



深山嫁菜ミヤマヨメナ
都忘れの原種です



イロハ紅葉イロハモミジ
花の後はヘリコプターのタネに

見晴らしの丘



藤(野田藤)フジ・ノダフジ
山に生える藤です



杏アンズ
もう実がついています



敬翁桜ケイオウザクラ
こちらもサクランボです



蛭花シジミバナ
花は八重で花を蛭の内臓に見立て

くわくわ森



地海老根シエビネ
野生のエビネです



春蘭シュラン
野生のシュランです



金蘭キンラン
咲き出しました



薇ゼンマイ 巻いた新芽を古銭を巻いた「銭巻き」に例えてゼンマイに



淀草イカリソウ
今年は花がたくさん見られます



鎌柄カマツカ
小さな花がたくさんつく



甘野老アマドコロ
茎が角ばっています



宝鐸草ホウチャクソウ
群生しています



浦島草ウラシマソウ
釣り糸が長く出しています



シロダモ新芽
シャンパンゴールド色



樺クヌギ 実生苗
オカメドングリから芽が出た



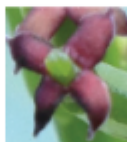
楠クスノキ
新しい葉は柔らかそう



青木アオキの花

雄花

雌花



山百合ヤマユリ
木が伐採されて明るくなり増えそう



館前田んぼと畑



大川高菖オオカワアシャ
繁殖率の強い帰化植物
特定外来生物に指定されている

今年の田んぼは農家の皆さんが
タネをまいてくださり、多くの
レンゲ畑ができています。



大地縛オオジシバリ
地面を縛るように広がり群生する



爪草ツメクサ
細い葉が鳥の爪に見えるので



数の子草カズノコグサ
田おこし前の田んぼに群生
見た目が数の子に似ているので



似ている植物 ここまで似ている植物が出てきましたので、まとめてみました。



蛇母ヘビイチゴ
少し湿った場所に咲き雄蛇毒と混生する赤い実は凹凸があり、無毒 3小葉



蛇母ヘビイチゴ
ヤブヘビイチゴ 藪や林内に咲きヘビイチゴより大きい、実も大きく赤くなめらか



雄蛇毒オヘビイチゴ
田んぼの畦など濡り気のある場所に咲く実は褐色、5小葉なのでわかりやすい



三葉土栗
ミツバツチグリ 平地から高原まで生育、根茎が太めで



雑筈キジムシロ
丸い座蒲団のようなのでキジの布団 根生葉は5~7枚ついているので他と違う



犬芥子イヌガラシ
アブラナ科イヌガラシ属からし菜に似ているが、食用にもならないので、下のスカシタゴボウとよく似ているので、比較しました。葉は縁に荒い鋸歯があり葉の切れ込みが小さい花は直径8mm 果実は長角果



透かし田牛髭
スカシタゴボウ アブラナ科イヌガラシ属葉の多くは羽状に深く切れ込みがあるが、上部につく葉は切れ込みが浅い。花は小さく1.5~3mm 固まった感じに見える 果実は短角果



烏野豌豆カラスノエンドウ
可愛いピンク色を見つけたので、載せました。公園には白花もあり、豆果が黒く熟すことから烏にたとえて名付けられる。小葉の先端が矢筈(ヤハズ)型に凹んでいるのでヤハズエンドウとも



かす間草カスマグサ
小葉8~15個からなる羽状複葉で花は1~3個の薄青色の蝶型花 豆果は毛がなく種子は4個 「か」カラスノエンドウと「す」スズメノエンドウの中「間」のような形をしていることから名がつけられた



雀野豌豆スズメノエンドウ
小葉12~14個からなる羽状複葉で花は小さな蝶型花 花はカスマグサより小さく白紫色 通常4個つける 豆果は短毛種子は2個入っている



田芥子タガラシ 有毒
田んぼの畦や湿地に生えます 食べてもダメ触ってもダメ



仏の座ホトケノザ
葉が「蓮座」に見えることから、三輪草サンカイグサとも



仏の座 (春の七草)
小鬼田平子コオニタビラコが正式名称 水田で見られる



フラササバ草
植物学者フランシエ氏、サバチエ氏の名から、

侯野遊水池・下飯田遊水池



野高苣ノヂシャ
欧州原産帰化植物、欧米ではコーンサラダといい食用



千葎チガヤ
地下茎で広がり大群落を作る 開花前の若い花序はほんのり甘



松葉海蘭マツバウンラン
北米原産帰化植物、群生しませんが細い印象です



春紫苑ハルジオン
欧州原産大正に観賞用として渡来、蕾はうなだれる